

# 「おとぎ話の第二章」へ

株式会社アルビレックス新潟

## 2019シーズンの概況

降格救済金△1億3,000万円

2018シーズン赤字△2億5,000万円

その他減収△1億0,000万円

**総予算約△5億0,000万円**

(約26億円→約21億円)

さらに、複数年契約選手や事業が残存

**Jリーグのクラブライセンスが失効する債務超過まで残り約1億0,000万円**

# 筋肉質。

**紡がれてきた歴史と皆さまからの愛情に頼っていた体制を転換し、  
クラブの価値を主体的に高めます。**

**できないこと、やらないことを決め、  
本質的な部分にリソースを注ぎ込みます。**

クラブの価値を高める

オンザピッチ

オフザピッチ

現在

### ビッグスワンの観客が最も喜ぶサッカーを（ワクワクの創出！）

「球際激しく戦い続け、泥臭いけれど運動量で圧倒し、笛が鳴るまで前へ。とにかく前へ。」  
この戦い方ができる選手、スタッフを徹底的に集める。

### 様々なストーリーで勇気を与えるスタジアムに

片渕監督続投  
野澤洋輔選手復帰  
早川史哉選手契約凍結解除

未来

### 新潟出身選手の重用

県内スカウティングの増強。再び日本代表選手の輩出へ。  
アカデミー体制の変更、メソッド部門新設（検討中）

メディア

### 空中戦

中高年層...新潟県内新聞、テレビ、ラジオ  
若年層...SNS  
コアファン...モバアル→モバアルZ（仮）

Jリーグで最も露出、地域貢献の多いクラブへ  
ベンチマーク=川崎フロンターレ

### 地上戦

地域貢献活動（学校訪問、病院ビューイング、区民デーなど）

人事

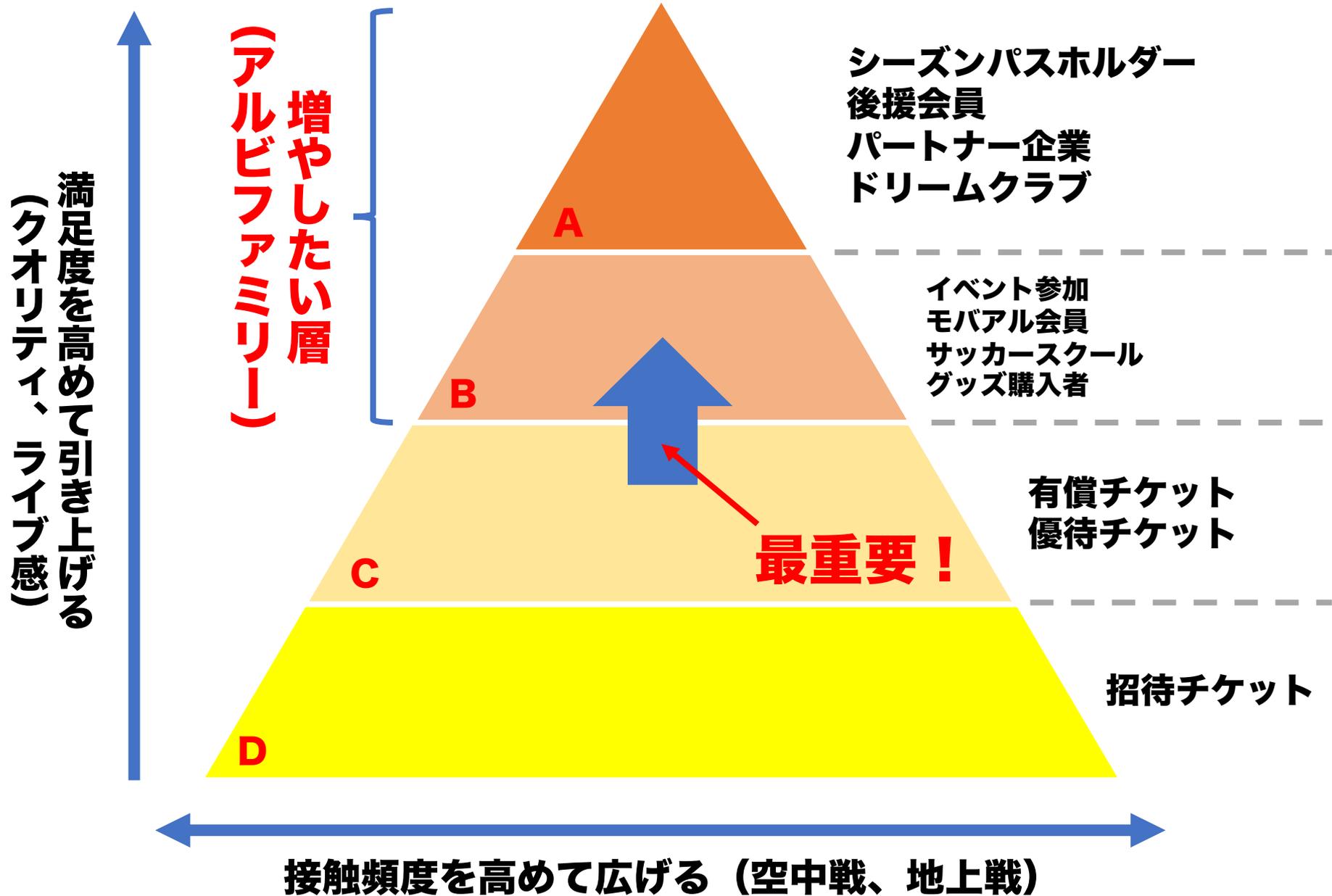
IT

### スマートスタジアム

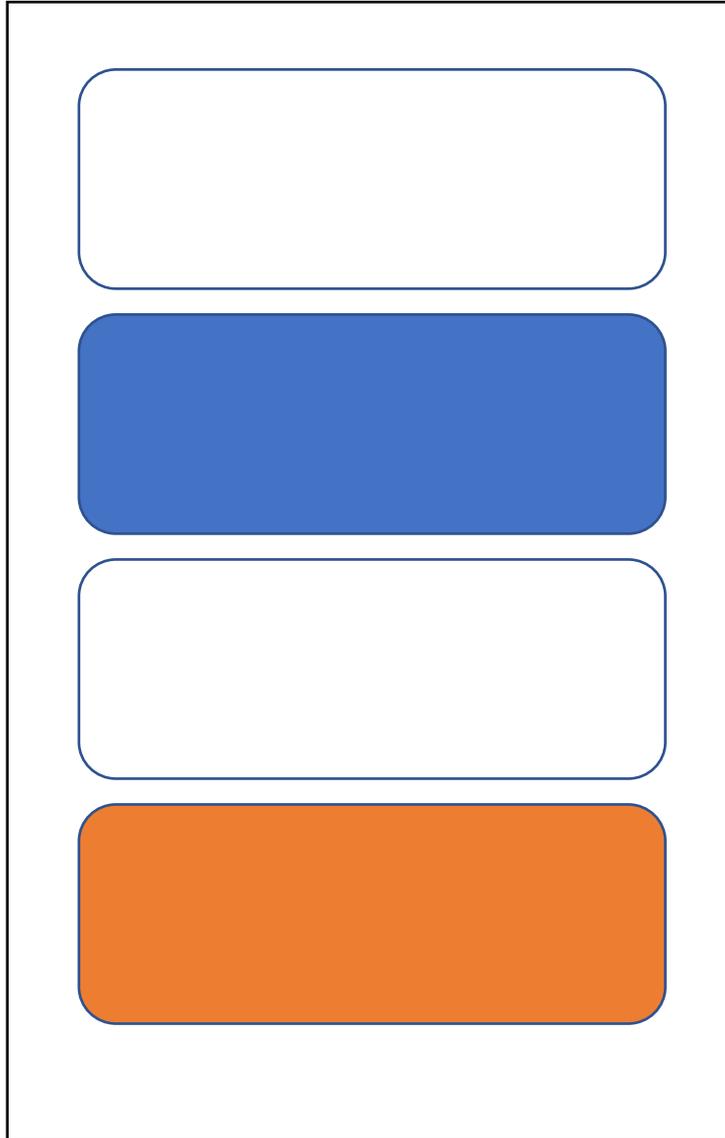
電子決済導入（2019シーズン～）  
デジタルチケットによるCRM推進（2020シーズン～）

多方面のアテンションを増加させることで、  
首都圏や海外からの収益を高める

# アルビファミリーのイメージ



クラブが発信したいタイミングで、発信したい内容を、できるだけ多くの方に。



# モバイルZ (仮)

ホワイトプラン  
ブループラン  
オレンジプラン

- クラブニュース、リリース
- モバイル人気コンテンツ
- 動画コンテンツ
- スマートスタジアムコンテンツなど…

ボリュームアップしてお届け  
2019年上半期～、順次開設予定